

部活動派遣費問題を考える 地域円卓会議（オンライン）

サッカーに打ち込む子どもたちの晴れ舞台、
大会主催者と考える派遣費問題

実施報告書

【1日目】論点提供・セッション1

収録日時： 2020年10月5日（月）19:00-20:30

収録場所： 公益財団法人みらいファンド沖縄

開催方法： YouTube 配信

【2日目】サブセッション・セッション2

開催日時： 2020年10月10日（土）13:30-15:00

配信場所： 公益財団法人みらいファンド沖縄

開催方法： オンライン会議（zoom）

主 催： 公益財団法人みらいファンド沖縄

共 催： 一般社団法人沖縄県サッカー協会

協 力： NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成

NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議（オンライン）



【1日目】論点提供・セッション1

- 収録日時：2020年10月5日（月）19:00-20:30
- 収録場所：公益財団法人みらいファンド沖縄
- 開催方法：Youtube 配信
- プログラム
 1. オリエンテーション
 2. 論点提供
 3. セッション1
 4. 板書ふりかえり、まとめ
- 開催方法：YouTube 配信 (<https://www.youtube.com/playlist?list=PLCpGsta0zIBAP0IU7miX7CU06XtNhBdb9>)
- 動画再生回数（11/4時点）：148回（1日目1/3）、44回（1日目2/3）、39回（1日目3/3）
- 着席者数：8名（論点提供者、司会、記録者含む）

論点提供 金城 充（一般社団法人沖縄県サッカー協会）

サッカーに打ち込む子どもたちの晴れ舞台、大会主催者と考える派遣費問題

子どもの派遣費問題をシリーズで議論する円卓会議の第1回。今回は、その晴れ舞台とも言える大会の主催者らとともにスポーツの大会はどのように企画運営されているのかを確認しながら、どうすれば沖縄と周辺離島の派遣コスト負担を緩和できるのかをみんなで考えます。（なお、本円卓会議は、2019年度～2022年度 休眠預金を活用した民間公益活動です。）

センターメンバー（1日目）



金城 充
一般社団法人
沖縄県サッカー協
会



上里 一将
FC琉球
キャプテン



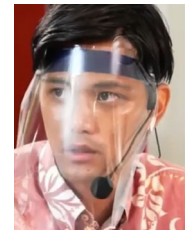
安達 健
公益財団法人日本サ
ッカー協会 47都道
府県/9地域FA担当部
部長



池田 洋二
公益財団法人日本サ
ッカー協会常務理事
一般財団法人鳥取県
サッカー協会会長



渡嘉敷 通之
公益財団法人沖縄
県スポーツ協会
専務理事



友利 貴一
琉球フットボール
クラブ株式会社

【2日目】サブセッション・セッション2



■開催日時：2020年10月10日（土）13:30-15:00

■配信場所：公益財団法人みらいファンド沖縄

■開催方法：オンライン会議（zoom）

■プログラム

1. オリエンテーション
2. 1日目ふりかえり
3. サブセッション
4. セッション2
5. 板書ふりかえり・まとめ

■開催方法：オンライン会議（zoom）

■着席者数：5名（論点提供者、司会、記録者含む）

■参加者数：5名（NPO、教育機関等）

センターメンバー（2日目）



金城 充
一般社団法人沖縄県サッカー協会



真栄城 勉
一般社団法人沖縄県サッカー協会副会長
琉球大学 教育学部 元教授



高嶺 祐太
琉球エンターテインメントラボ

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) 一大会ごと、そして1年間を通して、家計がいくら負担しているのか正確に調査すること。
- 2) 調査結果を分析し、この負担が子どもたちの体験保証の足かせになっていることを社会と共有すること。

■参加者によるサブセッション

サッカーに打ち込む子どもたちの晴れ舞台、大会主催者と考える派遣費問題

- ・参加者が Google スプレッドシートで記載した原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。
- ・グループ毎に①、②・・・と記載

- ①・派遣費の負担感：団体で出場している子どもの負担は重い、家族の中でも話題になるくらい、普段の練習でも交通費がかかる

【課題感】

- ・市町村によって補助率の差があることへの違和感
- ・学校独自の援助にも差異がある
- ・競技によっても父母会の資金の集まりやすさ
- ・地域によっても集まりやすさが違う
- ・子供の夢を皆で応援しようという感覚の共有がまだできていない

【解決案】

- ・貧困の問題もあるので企業協力も貰って連帯で関係者を増やすことが必要
- ・家庭によっても部活動の参加への協力に差がある(学校だけに求めるのも難しい)
- ・部活動に励むことによる効果・成果をしっかりと共有・理解 >> 競技の結果
- ・(今の競技結果ではなく社会に出てからの部活体験によって身に付いたものの影響、ふんばりがきく側面を理解してほしい)

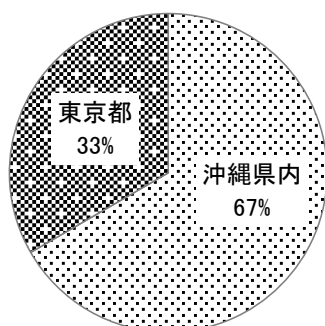
- ②・熊本の事例：大会プログラム広告料で 40 万円、それを宿泊費充てたケースある。
- ・そういうやり方で派遣費充てる事もできるのでは？チームの資金作り、レトルトカレーとハムの販売（沖縄は泡盛だったりするが…）、ラベルは付けたりしない。
 - ・企業スポンサー、大会によって変わってくる。県大会など小さい大会の時こそ、
 - ・集めていかないと行けないのでは
 - ・山形さんより：その他の解決法として、離島の長期予算計画など立てられると良い（時間 over で、このアイデアについては意見交換できず）

部活動派遣費問題を考える地域円卓会議（オンライン） 参加者アンケート集計

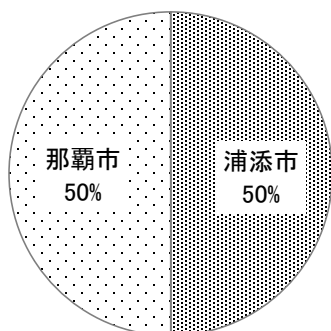
◆概要（2日目）

- ・開催日時：2020年10月10日（土）13:30-15:00
- ・配信場所：公益財団法人みらいファンド沖縄
- ・開催方法：オンライン会議システム（zoom）
- ・着席者：5名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：5名（アンケート回収3名、回収率60%）

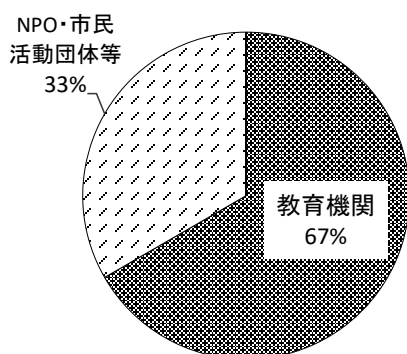
1. どちらから？（都道府県）



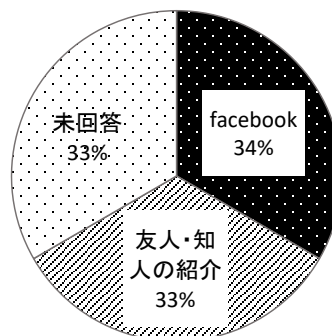
2. どちらから？（沖縄県内市町村内訳）



3. 所属



4. 円卓会議はどのように知ったか



5. 満足度

平均：4.6（5点中）

満足度	5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
人数	2名	1名	0名	0名	0名

6. 満足度の理由

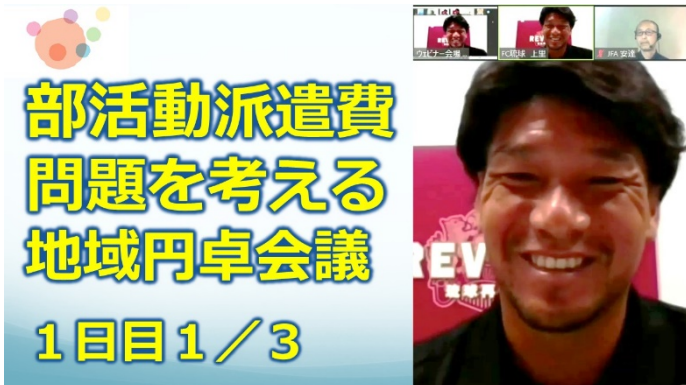
（5. 満足）

- ・ 現役の時から感じていたことについて、現状や解決策を共有できたことが嬉しかったです
- ・

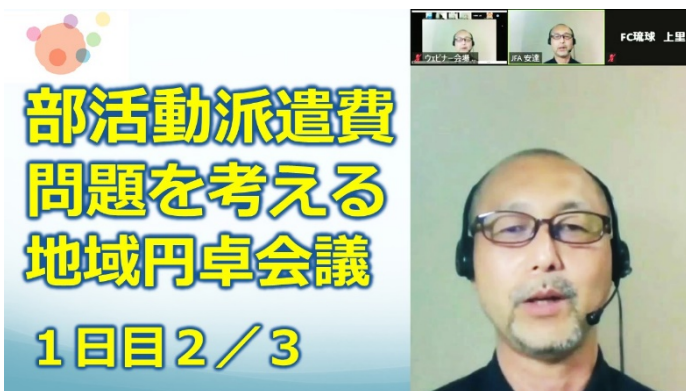
7. 1日目配信動画、本日の議論の中で、印象に残ったこと、良いアイデアだと思ったこと

- ・ 支援する地域住民や企業と子どもたちとwin-winの循環づくり、部活動の効果の可視化や啓蒙の必要性
- ・ 互助システムなど。小さいところからだけだと、なかなか進まないことも多いのですが、連携して協力を求めるといいなと感じました
- ・ 部員のインターンやボランティア活動

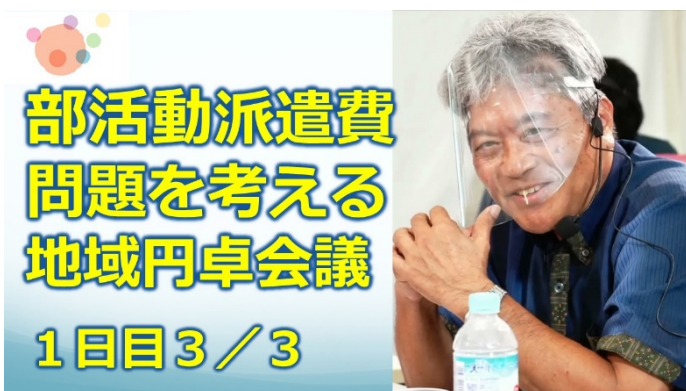
<動画記録 (1日目)>



- 公開日：2020年10月5日
- 再生回数：148回 (11/4時点)
- URL：<https://youtu.be/I-nbyMFrjUA>



- 公開日：2020年10月5日
- 再生回数：44回 (11/4時点)
- URL：<https://youtu.be/Dsiu3LkYYP>



- 公開日：2020年10月5日
- 再生回数：39回 (11/4時点)
- URL：<https://youtu.be/iEEz8sW564w>

<動画記録 (2日目)>



- 公開日：2021年3月9日 (限定公開)
- URL：https://youtu.be/_0i-u1fNvBY

<板書記録 (1日目)>

サッカーに打ち込む子どもたちの晴れ舞台、大会主催者と考える派遣費問題

部活動派遣費問題を考える 地域円卓会議

10/10 2020 Sat 13:30 START 参加無料

主催：公益財団法人めらいフンド沖縄
共催：一般社団法人沖縄県サッカー協会
協力：NPO法人まちなか研究所くわく

1日目：10月5日(月)
● 論点提供 テーマと、派遣情報の共有
● セッション1 取り組み紹介や論点提供者へ質問

2日目：10月10日(土)
● ぶりかえり
● サブセッション グループで話し合い
● セッション2 全体で意見交換
● まとめ

2020.10.5 1

論点提供

サッカーに打ち込む子どもたちの晴れ舞台、大会主催者と考える派遣費問題

金城 充 氏

サッカー協会指導者アンケート (2020年度5月実施)

派遣費の現状について (記述)

優勝すれば支援つづけるが、県大会出ただけでは...
宮古は3万円くらいかかった(大会)
そこで あきらめていた子が
5万くらい増えた場所では
トレナー 個人なので
補助がない、参加が3万円
九州大会 5万円くらい
県大会 2~3万円くらい
宮古11万円
負担の差でしてしまっている
コーチ、マネージャーも

2020.10.5 2

FC琉球 上里一将 選手

2020年9月27日 ジェフユナイテッド千葉戦

FC琉球 上里一将 選手

先分リーグおいて後半戦へ
離島・宮古島出身
ハケノ費
苦勞しかなかった
県大会・せんぼつ
子どもながら、
キャンセルしたことも
親に苦勞かけた
考えな外生活していた

宮古 → 県大会
→ 全国大会へ
優勝したとき
@ 県大会には
行かない、あきらめてしまっていた

毎週行かなくなると、
子どもたちの未来に向けた
可能性ひけたため
資金の支援 ありとありがたい

2020.10.5 3

JFA 安達健氏

各都道府県
沖縄の中でも、宮古・
八重山のこきかいが
な。た。
あらためて認識した

九州の大会
2種/フリスリーグ/高校
沖縄チーム用ハ補助
補助金(軽)
は沖縄へ上乗せしている

日程
学校休みの期間
夏休み → 冬休みまで
長期休校
観光シーズン
旅費高くなる

トナメントに
ハードに
1回戦だけ終わらせる

地域ごとに課題あり
北海道 - 広い
都心 - グラウンドない
雪 → 冬休み
移動 - 不金

2020.10.5 4

講演者 紹介
池田 洋二 氏
公益財団法人日本サッカー協会副会長
第一高校教員、元サッカー選手、元監督

講演内容
近頃、サッカー界の改革が叫ばれている。その改革の方向性、目的、手段、そして、その改革がもたらす影響について、池田氏の経験と見識を基に、わかりやすく解説する。

クラブと部活動
教員の働き方改革
教員が土日に部活をしなくなるように
45人以内教員
部活動が健全にできない
兼業(ジョブ) 土日にこまめに希望する教員が働ける環境をつくる

体制やPTAが固い入
校外種別はほめてあげる
兼職兼業
競技力の低下 体力の低下
一時的なソサエティ

目指すのがた
A B C クラブ
学校外
特色ある兼職兼業
教育 競技力向上 都道府県まで広がります

2020.10.5 5

講演者 紹介
友利 貴一 氏
株式会社フットボールクラブ協議会 代表取締役
元サッカー選手、元監督

講演内容
サッカー界の改革について、友利氏の経験と見識を基に、わかりやすく解説する。

予算 / 学校部活動
地区 負担②
↓ 県
全国 負担①

PTA会費 → 部活動費 (中学校)
強い学校ほどお金かかると
中高) の数 強くなると部活動も楽になった環境

うまい子集めるとんセン、変えてくても必要では
指導者ハケン
やりかたを変えても

FC 琉球というプロチームがあるのだから
小学生が中学生、中学生が高校生、カテゴリをどうゲームで近づけたことも1つの方法

屋敷川
石垣・宮古で大会やってはいるという声
トレンセンも宮古・八重山でもうよいか

2020.10.5 6

講演者 紹介
渡嘉敷 通之 氏
公益財団法人日本サッカー協会 副会長
元サッカー選手、元監督

講演内容
サッカー界の改革について、渡嘉敷氏の経験と見識を基に、わかりやすく解説する。

ずがりの競技力かわってきた
離島の子たちはたいへん
高体連でもお力出している
宮古・八重山大会の開催
全国大会への九州大会への補助
個人負担 学校負担

部活動のあり方
インタ・ハイ) 一学校対抗
整理必要では

兼職兼業
教育と育成
指導者も大切にしてほしいことも大切にしてほしい

野球 - 高額の支援入ったところ
地域の人・企業が変えてくれた
二重の負担 (離島 本島 全国)
航空会社) の協力 旅行業
種目による負担の差の解消
地域の意識
県、教育委員会が軸として
交通手段

2020.10.5 7

講演者 紹介
友利 貴一 氏
株式会社フットボールクラブ協議会 代表取締役
元サッカー選手、元監督

講演内容
サッカー界の改革について、友利氏の経験と見識を基に、わかりやすく解説する。

本島の子
中学 → クラブチーム
いきなり九州大会から
月4回 県外行、たりなで沖縄独自の課題

チーム内に沖縄県出身の子を
Jリーグクラブとして考えなければならぬ
巡回スクールをいじめる
育成にまでよみこんでいきたい
プロクラブとしてできること

屋敷川
身近なプロがある
目指す上から沖縄の内にあり
読者にもつながり 出向いて、行くことも

- 離島の派遣が大変であることの共有
- どれくらい負担が来ると、あきらめる人がゼロになったのか
- 県民のコンセンサス
種目別の差 体験の保障
沖縄と全国 主催者による違い
大会と練習 部活とクラブ 育成と体験

論点をひらけた。次どうしようか

2020.10.5 8

<板書記録 (2日目)>

1日目: 10月5日 (月)
 ● 論議提供 テーマと、関連情報の共有
 ● セッション1 取り組み紹介や補完提供等へ準備

2日目: 10月10日 (土)
 ● ふりかえり
 ● サブセッション グループで話し合い
 ● セッション2 全体で意見交換
 ● まとめ

サブセッション

どうしたら派遣費負担を下げられるのか? みんなで考えよう

みやざき

- 大会へのプログラム広告
- 大会へのハケン費用をばい
- 物品の販売
- 長期的な計画
- 旅ヒセキ

テーマ「どうしたら派遣費負担は下げられるのか? みんなで考えよう」 スライドNo.1

(メンバー: 武野さん、坂本さん、笹原)

- 派遣費の負担感: 団体で出場している子どもの負担は重い、家族の中でも話題にならない、普段の練習でも交通費がかかる

課題感

- 市町村によって補助金の差があることへの違和感
- 学校独自の援助にも差異がある
- 競技によっても父母会の資金の集まりやすさ
- 地域によっても集まりやすさが違う
- 子供の夢を皆で応援しようという感覚の共有がまだできていない

解決案

- 貧困の問題もあるので企業協力も買って連帯で関係者を増やすことが必要
- 家庭によっても部活動の参加への協力に差がある(学校だけに求めるのも難しい)
- 部活動に励むことによる効果・成果をしっかりと共有・理解 >> 競技の結果(今の競技結果ではなく社会に出たからの部活体験によって身に付いたもの、ふんばりがきく側面を理解してほしい)

2020.10.10 10

金城社
 いくつかのソリューション必要

高橋社
 スポンサー
 学生から一般の若者まで
 沖縄のサッカー情報紙について
 10月下旬発行 いろいろ
 「ホバロ」チーム選考のお手伝い

真栄城社
 離島の子どもの現状
 子どもの可能性
 可能性を伸ばすサポート
 切実な願いを思う

行政補助金

石垣 R3社
 各市町村 一括交付金活用

選手以外 かんていなど
 支援人 対象 引率者

ブロック別

那覇市・八重瀬町
 都立 クラブ活動への助成
 たいせき R2

足りているのか?

- 行政補助は原則年1回
- うちの不参加選手 - 負担
- 別の大会 - リンク対象外の大会もあつ
- 地域間の財政状況の差
 地域による差

2020.10.10 10

高橋社 個人なのかチームなのか

地域の関係性の高いメンバー

地域貢献活動

仲間 プレーヤー同士の互換

チーム

商品販売

旅行会社 パッケージ 皆で計画

売上の一部が派遣費へ

資金造成

● PR

- 県・県教育委員会 から 県民へ
 ハタヨリしなから フォトブックへ
- 育成委員を各地域へ派遣して
- 宮古・八重山の選抜チームと
 本島選抜チーム

金城社

- 派遣費の負担の共通理解
- “地域密着”はヒント
- チームをい地域で
 コミュニケーション
- 応援に対し何ももって
 お返しする
- どう頑張ったのか伝えた

資金源いろいろあつ
 いくつか必要なのか
 ハッキリさせたい

2020.10.10 11